

地域材の活用に向けた人材育成研修会(第2回)について

1. 開催日時 平成23年11月29日(火) 午後5時30分～午後8時

2. 開催場所 工業技術センター 金属加工室、2F会議室

3. 参加人数 32名

4. 研修会の概要

- ・ 地域材の活用に向けた人材育成研修会の第2回目。
- ・ まず、釧路市有林の間伐材を用いた、強度試験の実演が行われ、その後、(地独)北海道立総合研究機構林産試験場 松本主査、釧路市都市整備部 香川次長の講演が行われた。
- ・ 松本主査からは「カラマツ材の強度に関する基礎知識(釧路市有林での試験結果)」と題し、カラマツの年輪幅と強度の関係や強度選別方法、釧路市有林材の強度試験結果などの説明があった。
- ・ 香川次長からは「地元木材を使用した市の公共施設について」と題し、これまで公共建築物として使用してきた実績の説明があった。
- ・ 長谷川川下部会長進行のもとで、意見交換を行った。

5. 意見交換

- ・ 原木強度と製材強度の関係質問(木取り(原木から必要寸法の製材を無駄なく行う)方法、製材の部位により同一原木でも強度は異なる、また乾燥により強度があがることの説明があった)。
- ・ 今回の市有林材間伐材では、一定の強度があることの再認識(建築用材としての利用が可能)。
- ・ 強度の規定要因に遺伝的な形質があるのであれば、強度の強い材をブランド化できるのでは(既に品種改良された種もある、遺伝要素の大きさの検証には時間がかかるとの説明)。



<強度試験実演の様子>



<参加者による体験>



<講師の松本氏、香川氏>



<研修会の様子>